

2019年3月5日

市民ネットワーク北海道 御中

石川 ともひろ事務所

アンケートへの回答について

市民ネットワーク北海道の皆様おかれましては、自らの主体性で解決する地域社会づくりという理念のもと、日ごろから環境や平和など生活を取り巻く様々な課題に取り組まれていることに、心から敬意を表します。

2月27日付でいただいたアンケートについて、以下のとおり回答させていただきます。各課題の認識については、皆様の知見からすると至らない点も多いかと思いますが、ご容赦ください。私は北海道で豊かな自治を実現したいと考えており、今後も多くの皆様からご意見をいただきながら、さらに必要な修正・補強をしていきたいと考えております。

1. 憲法9条「改正」について、どのようにお考えですか。

a. 賛成 b. 反対 c. その他

[理由]

私は政治家として平和憲法を尊重してきました。その決意は今も変わりません。

2. 泊原発の再稼働について、どのようにお考えですか。

a. 賛成 b. 反対 c. その他

[理由]

私は脱原発の立場です。原発の再稼働は、安全基準をクリアして、住民の実効性ある避難が担保され、住民の理解と合意を得られることが最低の前提条件です。泊原発については、規制委員会の審査が継続中であり、そもそも再稼働できる状況にないと考えています。今は、原発に替わるエネルギーをどう拡大していくかに集中すべきだと思います。

3. 大間原発の建設について、どのようにお考えですか。

a. 賛成 b. 反対 c. その他

[理由]

2. の立場で、私は函館市・住民に寄り添い、理解を得られていない大間原発の建設凍結を求めます。

4. 北海道における再生可能な自然エネルギーの促進に向けた取り組みについて、どのようにすすめていくお考えですか。

[回答]

電力の安定供給のためには、大規模集中から地域分散型へ転換していくことが必要だと考えています。一次産業のエネルギー兼業化（畜産バイオ、ソーラーシェアリング、漁協風車、木質バイオ）などを推進、バーチャルパワープラント・デマンドリスポンスによる調整力

の拡大を図り、ゆくゆくは系統を地域別に分けて（セル化）してブロックチェーンの考え方でつなぐ「デジタルグリッド」を導入したいと考えています。

5. **幌延深地層処分計画について、どのようにお考えですか。**

- a. 賛成 b. 反対 c. その他

[理由]

深地層処分研究については、「放射性廃棄物の持ち込みや使用をさせない、研究終了後は地下施設を埋め戻す、最終処分場とせず中間貯蔵施設も設置しない」という旨の協定を今後もしっかり守らせること、また、幌延町に限らず、北海道に放射性廃棄物を持ち込ませない取り組みが大切と考えます。

6. **「（仮称）放射能汚染防止法」制定について、どのようにお考えですか。**

- a. 賛成 b. 反対 c. その他

[理由]

福島原発事故後の環境基本法等の改正で放射性物質が公害物質として扱われることとなりましたが、汚染者の責任が問われないままになっています。「（仮称）放射能汚染防止法」を含めて、早期の法整備が必要と考えます。

7. **男女平等社会の確立に向けて、どのようにお考えですか。**

[回答]

男女にかかわらずワーク・ライフ・バランスの確立と男女間の賃金格差の解消が必要であり、セクハラをはじめ、あらゆるハラスメント防止も含めた職場環境の整備も重要です。その上で、社会参加・就労を希望する女性のハードルになっている、子育てや介護などの社会化について環境・条件を整備しなければならないと考えています。

8. **主要農産物種子法の廃止、TPPの発効など食の安心・安全が脅かされる中、北海道の食をどのように守り育てるのか、どのようにお考えですか。**

[回答]

私は農業王国・十勝で活動してきました。北海道農業を脅かすTPPには今も反対の立場です。一方、昨年12月30日にTPP協定が発効、今年2月1日には日EU・EPAが発効しました。これらに対する農業・農家を守るための対処策はもちろんですが、本来的には個別所得補償制度などによって農家経営の安定化を図り、多面的な価値を持つ北海道の農地を大切にし、食の安全・安心、雇用など道民の暮らしを支えていくことが必要だと考えています。

主要農産物種子法の廃止に伴い、開会中の道議会第1回定例会では条例が提案されているところです。北海道の優良品種を守り育て、農家がそれを使用（安定供給）して生産できるようにすることは必要最低限のことですので、私が知事になることができれば、そのために道立総合研究機構・農業研究本部など道庁の機能・役割をしっかりと果たしていきたいと思えます。

以上